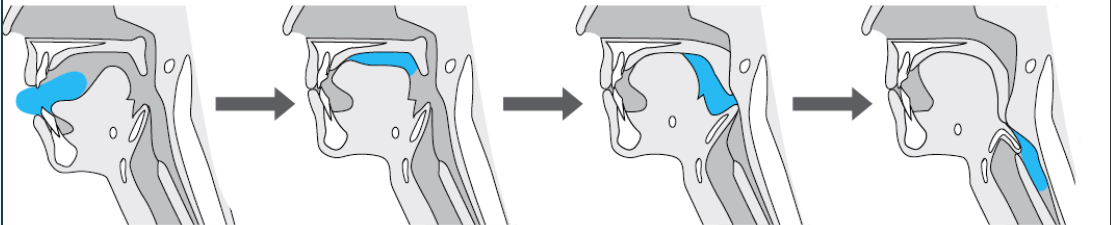
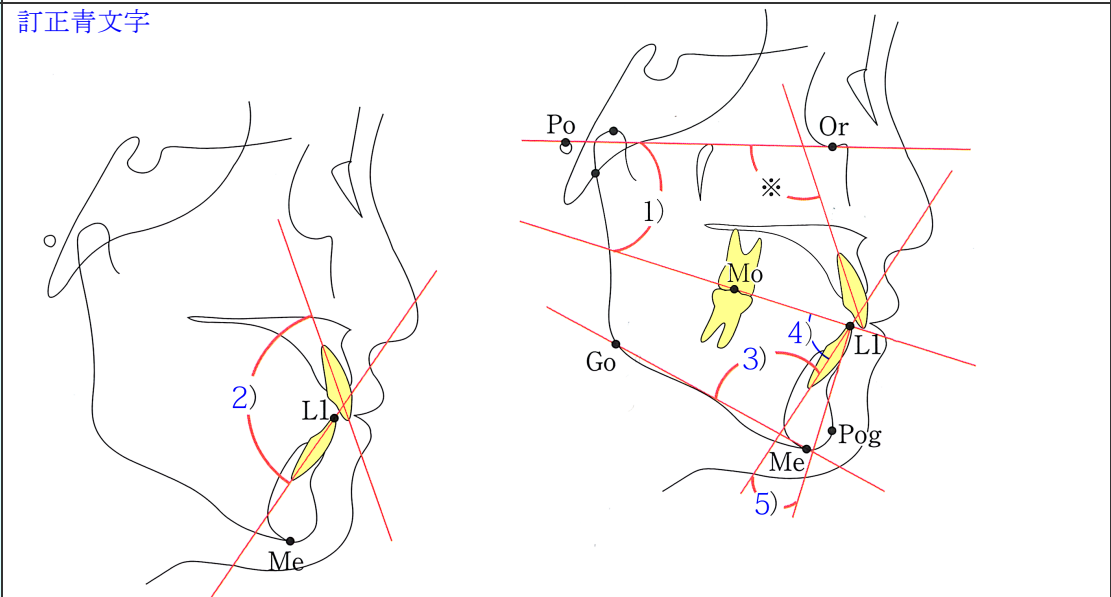


お詫びと訂正 『 歯科医師国家試験 完全攻略 <改訂 第二版> 』

当会出版物をご利用いただき誠にありがとうございます。
 内容に一部誤りがございました。読者の皆様および関係者の皆様にご迷惑をおかけ
 しましたことを深くお詫びするとともに、訂正させていただきます。

上巻 p.52 図 1-42 嚥下の相 注釈文	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="422 600 518 705"> <p>準備期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物摂取 ・食塊形成 </div> <div data-bbox="614 600 885 728"> <p>口腔期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔から咽頭までの時期 ・口唇、舌前方が口腔前方を閉鎖する </div> <div data-bbox="901 600 1173 806"> <p>咽頭期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軟口蓋が鼻道を封鎖 ・喉頭挙上 ・呼吸運動停止 ・喉頭蓋が喉頭を封鎖して食塊が食道に導かれる ・声門裂閉鎖 </div> <div data-bbox="1189 600 1457 728"> <p>食道期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食道入口部から胃までの食塊の移動 ・食道の蠕動運動 </div> </div>								
上巻 p.196 表 3-18	作業管理	~	暴露時間の抑制 換気、 休息施設						
	作業環境管理	~	有機物質発生抑制 有害物質遠隔操作 休息施設						
上巻 p.241 C ショ糖と齲蝕	日本人 1 人あたり年間 2.9 k g の ~ → 日本人 1 人あたり年間 18.8 k g の ~								
下巻 p.491 図 9-16 Downs法に~ 上、左図	訂正青文字 								
下巻 p.734	<ul style="list-style-type: none"> ・ Robinson 法 (下顎枝垂直骨切り術) ・ Dingman 法 (下顎骨体一部切除術) ・ Köle 法 (下顎前歯部歯槽骨切り術) } : 歯列の連続性が失われる方法								
下巻 p.789 表 14-12	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">N : リンパ転位</td> <td style="width: 33%;">N 1</td> <td style="width: 33%;">~、最大径が 3 c m 以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>→ 3 c m 以下</td> </tr> </table>			N : リンパ転位	N 1	~、最大径が 3 c m 以上			→ 3 c m 以下
N : リンパ転位	N 1	~、最大径が 3 c m 以上							
		→ 3 c m 以下							

制度改正による訂正 (更新されているので厚労省発表を確認下さい)

上巻 p.161 表 3-5 感染症の分類	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">感染症分類</td> <td style="width: 60%;">2 類感染症「MERS」及び「鳥インフルエンザ(H5N1)(H7N9)」</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>4 類感染症「デング熱」</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>5 類感染症「鳥インフルエンザ(H5N1,H7N9)を除く」</td> <td></td> </tr> </table>	感染症分類	2 類感染症「MERS」及び「鳥インフルエンザ(H5N1)(H7N9)」			4 類感染症「デング熱」			5 類感染症「鳥インフルエンザ(H5N1,H7N9)を除く」	
感染症分類	2 類感染症「MERS」及び「鳥インフルエンザ(H5N1)(H7N9)」									
	4 類感染症「デング熱」									
	5 類感染症「鳥インフルエンザ(H5N1,H7N9)を除く」									